

# ディスクグラインダ

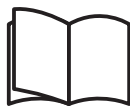
## DISK GRINDER

### 取扱説明書

この度はディスクグラインダをお買い求めいただき、ありがとうございます。未長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、必ず保管してください。

#### もくじ

●はじめに	2	●使用するにあたって	15
・ディスクグラインダについて	2	・サイドハンドルの取り付け	15
・仕様	2	・砥石カバーの位置調整	15
●安全上のご注意	3	●運転手順	16
・ご使用前△警告	3	・電源スイッチの確認	16
・ご使用前△注意	5	・使用する	16
・ご使用中△警告	6	・終了手順	17
・ご使用中△注意	8	●取付参考例	18
・ご使用后△警告	8	・ディスク用パーツの取り付けについて	18
・ご使用后△注意	9	・切断砥石の取り付け	18
●各部の名称	10	・サンディングディスクの取り付け	19
●ご使用前に	12	・ダイヤモンドホイールの取り付け	19
・電源スイッチの確認	12	・カップワイヤブラシ／	
・差し込みプラグの確認	12	ベベルワイヤブラシの取り付け	20
・砥石の取付確認	12	●故障かな？と思ったら	20
●オフセット砥石の取り付け	13	●保守と点検	21
・オフセット砥石について	13	・保守と点検	21
・砥石の選択表	13	・カーボンブラシの交換	22
・付属のオフセット砥石の取り付け	13	●別売品について	23



◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

発売元 **株式会社パオック**

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

はじめに  
P2  
P9

各部の名称  
P10  
P11

ご使用前に  
P12  
P15

運転手順  
P16  
P17

取付参考例  
P18  
P20

と故障かな？  
P20

保守と点検  
P21  
P22


つ別売品にて

P23


# はじめに

## ■ディスクグラインダについて

各種金属、コンクリート、石材、スレート、樹脂などに対して、砥石を高速で回転させて研磨・研削をする、日曜大工用携帯電動工具です。

- ・本機は日曜大工用として設計されています。一般家庭用としてご使用ください。
- ・切断作業はモータに負荷がかかりやすい作業です。  
故障を防ぐため、無理に押し付けるなどして回転速度が大幅に低下しないよう注意しながら、少しずつ作業を行ってください。
- ※切断作業には別途切断砥石(市販品)と切断砥石カバー(別売 )が必要です。

## ■仕様

型 式	DG-100SPA
定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	600W
定 格 時 間	30分
回 転 速 度	12,000min <sup>-1</sup>
取付可能砥石サイズ	外径100mm×穴径15mm×厚さ6mm
電 源 コード	約1.8m
質 量	約1.7kg (付属の砥石取付時)
材 質	本体：ナイロン
絶 縁 方 式	 二重絶縁
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフセット砥石 …………… 1枚</li> <li>・サイドハンドル …………… 1個</li> <li>・砥石押さえナット …………… 1個</li> <li>・砥石支えワッシャ …………… 1個</li> <li>・砥石交換用スパナ …………… 1本</li> <li>・カーボンブラシ …………… 2個</li> <li>・取扱説明書 …………… 1部</li> </ul>

■付属品の他にも⊕2ドライバ、⊖ドライバ等をご用意ください。

※品質改良のため、外観・仕様など一部変わることがあります。

# 安全上のご注意

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次の注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

本取扱説明書の注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分されています。

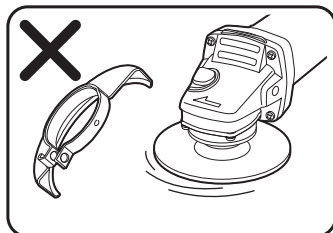
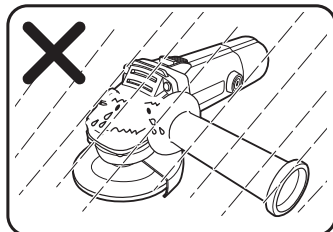
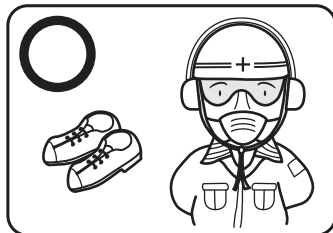
**⚠ 警告** この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

**⚠ 注意** この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。  
 なお、⚠注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますので必ず遵守してください。

## ご使用前

## ⚠ 警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。
- 作業はきちんとした服装で行ってください。
  - 作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴等の保護具を着用してください。
  - ネクタイ、手袋、袖口の開いた服装は、可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ディスクグラインダは、雨の中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
  - 可燃性の液体や、ガスのある所では使用しないでください。
- 各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認してください。
- 砥石カバーを確認してください。
  - 砥石カバーは砥石が破損した場合の防護具です。取り外しての作業は絶対に行わないでください。



# 安全上のご注意

## ご使用前

## 警告

6. 切断砥石以外の砥石での切断作業は行わないでください。

- ・付属の砥石は研磨・研削用です。切断作業を行う場合は、市販の切断砥石に交換してご使用ください。

7. 切断砥石を使用の際は、必ず別売の切断砥石カバーを取り付けてください。

- ・切断砥石カバーを取り付けずに切断作業を行うと、事故やけがの原因になります。

8. 運転前に必ず砥石を点検し、亀裂・割れ等が無いか確認してください。

- ・砥石が破損し、けがの原因になります。

9. チップソー（丸鋸刃）は使用できません。

- ・チップソー（丸鋸刃）の使用は、事故やけがの原因になります。

10. 不意な始動は避けてください。

- ・差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。

11. 工具類は必ず取り外してください。

- ・電源を入れる前に、調整に用いたスパナやドライバ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

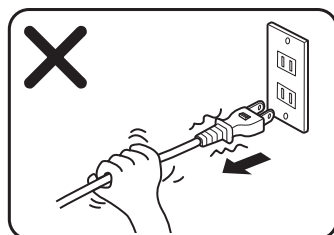
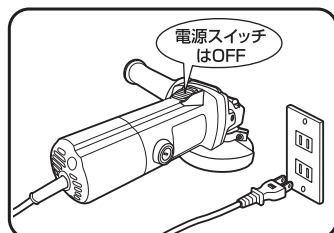
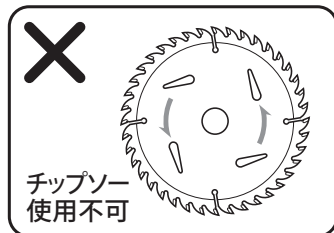
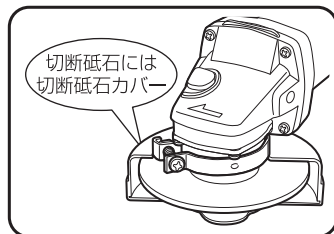
12. 電源コードは乱暴に扱わないでください。

- ・電源コードを引っ張ってディスクグラインダを移動させたり、電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。

- ・電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。電源コード損傷の原因になります。

13. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



## ご使用前

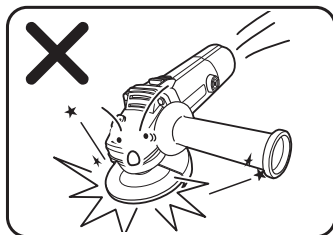
## ⚠ 警告

14. 本機は大切に取り扱いしてください。  
 ・転倒や落下により、破損する恐れがあります。

## 15. 【事業者の方へ】

砥石の取り替え、試運転は法・規則で定める特別教育を受けた人が行う必要があります。

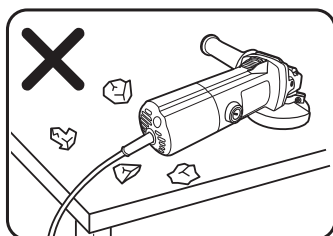
- ・関連法案  
 労働安全衛生規則 第36条  
 安全衛生特別教育規程 第1条・2条



## ご使用前

## ⚠ 注意

1. 作業場はいつも明るく、きれいにしてください。  
 ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります。
2. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧 (AC100V) でご使用ください。  
 ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、事故やけが、本機損傷の原因になります。
3. 試運転を励行してください。  
 ・試運転の時間は、砥石交換時3分間以上、その日の作業開始時1分間以上です。
4. 騒音対策を行ってください。  
 ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲の迷惑にならないよう、規制値以下でご利用になることが必要です。  
 ・必要であれば遮音壁を設けて作業を行ってください。

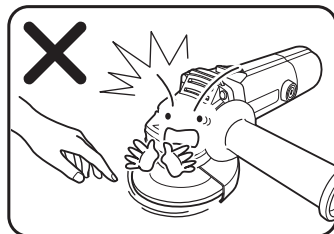
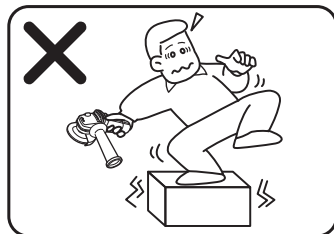
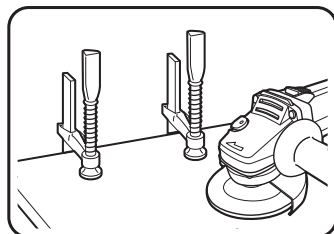
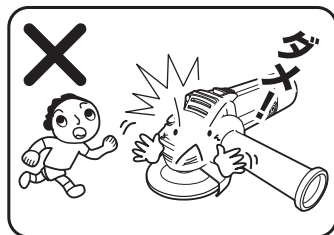


# 安全上のご注意

## ご使用中

## 警告

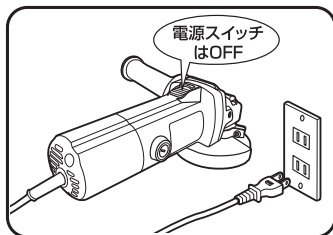
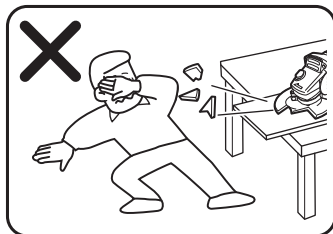
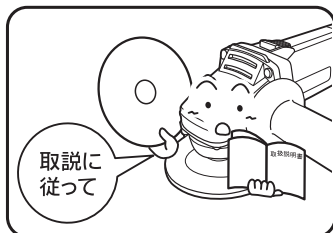
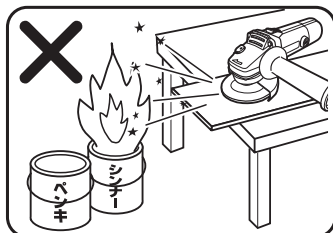
- 電源コードの位置を確認し、作業を行ってください。
  - 加工時に誤って電源コードを傷めてしまう恐れがあり、大変危険です。
- 子供を近づけないでください。
  - 作業者以外、ディスクグラインダやコードに触れさせないでください。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- 加工する材料は、バイスやクランプなどで確実に固定してください。
  - 手や足で押さえたりすると跳ね上がることがあり、思わぬ事故につながります。また、あまり小さい加工物の加工は危険です。おやめください。
- 電源をONにしたまま、床などに置かないでください。
- 無理な姿勢で作業しないでください。
  - 常に足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。
- 用途にあった砥石を取り付けてください。
  - 研削砥石で切断するなど、用途外の使用をすると砥石が破損し、事故やけがの原因になります。
- 運転中は砥石および可動部に手や身体を近づけないでください。
  - 事故やけがの原因になり、大変危険です。



## ご使用中

## 警告

8. 揮発性可燃物のそばや可燃性の液体、ガスのあるところでは絶対に使用しないでください。
  - ・モータが回転する時や加工時に、火花や切屑が飛散します。
  - 引火または爆発の恐れがあるため、大変危険です。
9. 運転中、機体の調子が悪かったり、異常に気づいた時は、直ちに運転を中止してください。
  - ・そのままの使用は、事故やけがにつながります。
10. 砥石の交換は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・不確実な取り付けは、外れて事故やけがの原因になります。
11. 使用する砥石は正規の寸法で、本体の最高使用回転速度・周速度以上の砥石を取り付け、正しい使用面で使用してください。
  - ・正規以外の砥石を使用したり、正しい使用面以外で使用すると、砥石が破損し事故やけがの原因になります。
12. 砥石を交換した際、最初に電源スイッチを入れる時は、砥石回転の正面に人を立たせないでください。
  - ・砥石が破損した場合、事故やけがの原因になります。
13. 不意な始動を避けるため、次の場合はディスクグラインダの電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理・点検する場合
  - ・砥石など付属品を交換する場合
  - ・停電などの時
  - ・本体を持ち運ぶ時
  - ・その他危険が予想される場合
14. 水・研削液などは使用しないでください。
15. 上向き（定置形）にして使用しないでください。

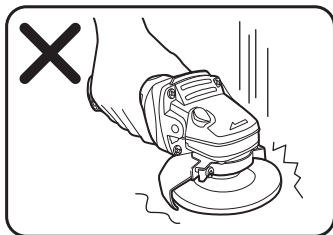
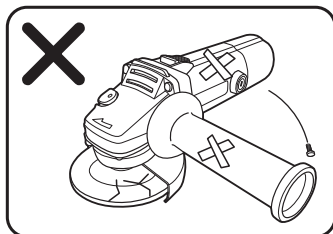


# 安全上のご注意

## ご使用中

## ⚠ 注意

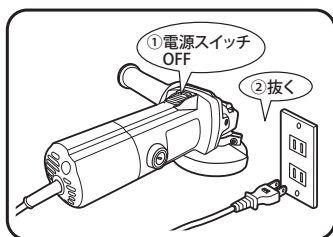
1. 誤って落としたり、ぶつけた時は、砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形がある時は使用しないでください。
2. 運転中はロックピンを押さないでください。また、ロックピンを押したまま電源スイッチを入れないでください。
  - ・本体に無理な力がかかり、砥石破損や本機故障の原因になります。
3. 本機は日曜大工用のため、極端に回転速度が低下するような負荷はかけないでください。
  - ・無理に押し付けるなどの回転速度を大幅に落とすような負荷は、故障の原因となります。



## ご使用後

## ⚠ 警告

1. 電源スイッチをOFFにした後、差し込みプラグを電源から抜いてください。
  - ・不意な作動で、思わぬ事故やけがの原因になります。

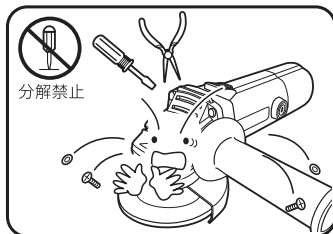
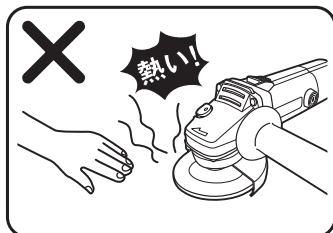
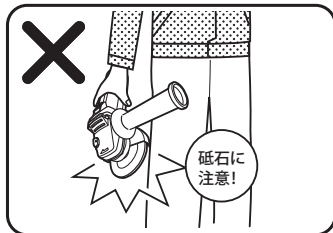




## ご使用後

## ⚠ 警告

2. スイッチを切った後も、惰性で回転している砥石に注意してください。
  - ・手や身体に触れると、けがの原因になります。
3. 加工直後の加工物や砥石は絶対に素手で触らないでください。
  - ・加工直後の加工面は大変熱くなっています。やけどの恐れがあり、大変危険です。
4. 本機を分解、改造しないでください。
  - ・事故やけが、故障の原因になります。
5. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・そのまま使用していると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になります。
6. 注意深く手入れをしてください。
  - ・電源コードや差し込みプラグは定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。
  - ・握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



## ご使用後

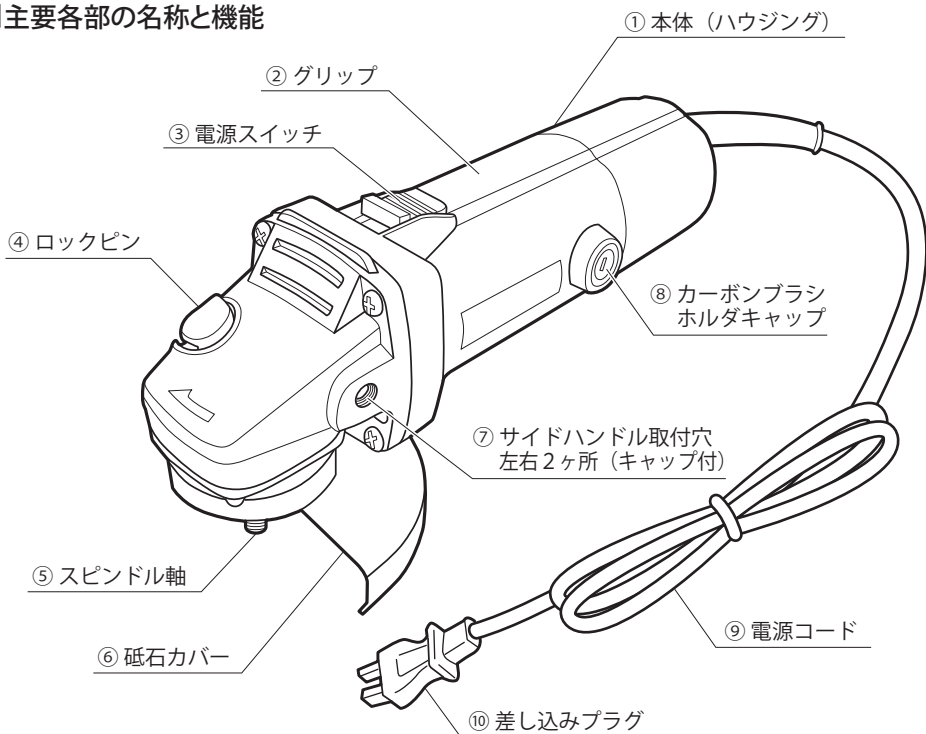
## ⚠ 注意

1. 使用しない場合はきちんと保管してください。
  - ・お子様の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けてください。

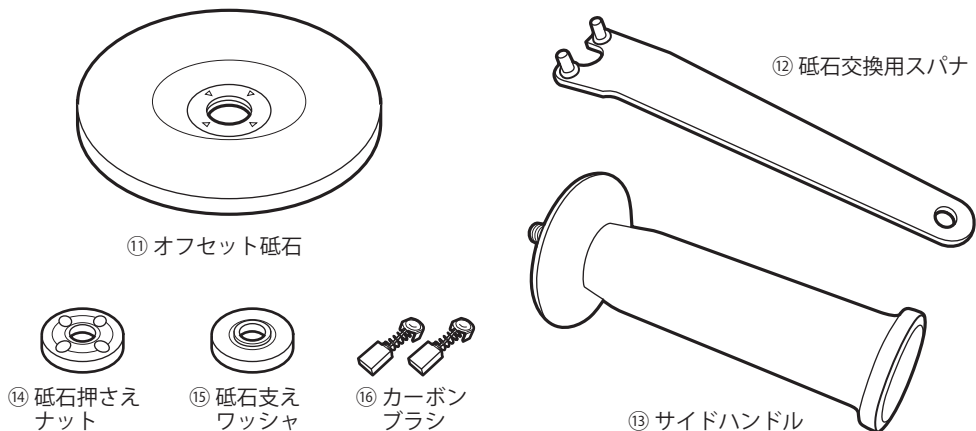


# 各部の名称

## ■主要各部の名称と機能



## ■付属品



## ■本体主要各部

	名 称	機 能
①	本体（ハウジング）	機械部全体を収納しています。
②	グリップ	グリップです。
③	電源スイッチ	電源のON/OFF操作を行います。
④	ロックピン	砥石交換の際、砥石が回転しないように固定します。
⑤	スピンドル軸	砥石を取り付ける軸です。
⑥	砥石カバー	研磨時に火花や破片が飛散するのを防ぎます。
⑦	サイドハンドル取付穴	付属品のサイドハンドルを取り付けます。左右両側にあります。粉じんの本体内部への侵入を防ぐキャップ付です。
⑧	カーボンブラシホルダキャップ	カーボンブラシを収納しているホルダのキャップです。左右両側にあります。
⑨	電源コード	電源コードです。
⑩	差し込みプラグ	差し込みプラグです。

## ■付属品

	名 称	機 能
⑪	オフセット砥石	外径100mm×穴径15mm×厚さ6mmのレジノイド砥石です。 (砥粒A、粒度36、結合度Q、結合剤B相当)
⑫	砥石交換用スパナ	砥石交換時に使用します。
⑬	サイドハンドル	本体に取り付けて使用する補助ハンドルです。 左右に付け替えることができます。
⑭	砥石押さえナット	砥石の装着時に、砥石側で砥石を押さえます。
⑮	砥石支えワッシャ	砥石の装着時に、本体側で砥石を支えます。
⑯	カーボンブラシ	交換用カーボンブラシです。2個で一組です。

**⚠ 警告** 付属品が不足していたら組み立てずに、販売店または発売元までご連絡ください。また、差し込みプラグも差し込まず、不足部品が揃ってから組み立ててください。

# ご使用前に

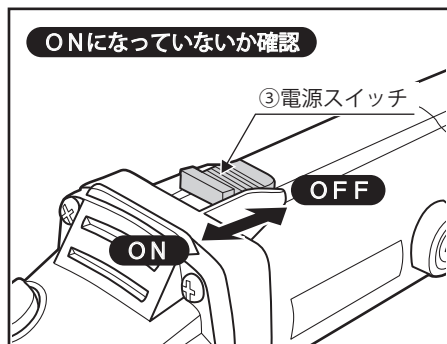
※各部名称・番号は P10・P11をご参照ください。

## ■電源スイッチの確認

電源スイッチがONの状態になっていないか確認してください。

### ⚠ 警告

電源スイッチがONの状態、差し込みプラグを電源に差し込むと、不意に始動し、思わぬ事故の原因になります。

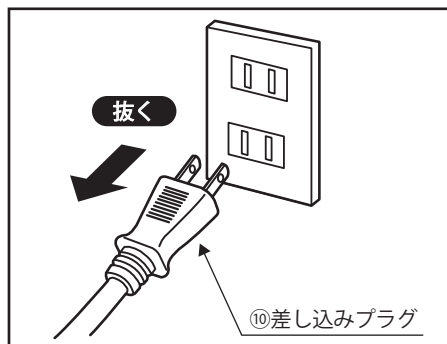


## ■差し込みプラグの確認

差し込みプラグが電源(AC100V)に差し込まれていないか確認してください。差し込んである場合は電源より抜いてください。

### ⚠ 警告

電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡(ショート)の原因になります。電源コードは乱暴に扱わないでください。



## ■砥石の取付確認

作業前に砥石が確実に取り付いていることを確認してください。ゆるみやガタつきがある場合は確実に締め付けてからご使用ください。

砥石の締付方法は下記ページで詳細をご確認ください。

**オフセット砥石の取り付け P13** →

# オフセット砥石の取り付け

※各部名称・番号はP10・P11をご参照ください。

## ■オフセット砥石について

- ・本機に付属のオフセット砥石は、砥粒A、粒度36、結合度Q、結合剤B相当のレジノイド砥石です。
- ・砥石の外径は100mmです。60mm位まで磨耗したら新品と交換してください。

### ⚠ 警告

砥石を交換する際は、亀裂の有無を確認し、亀裂の入っているものは絶対に使用しないでください。

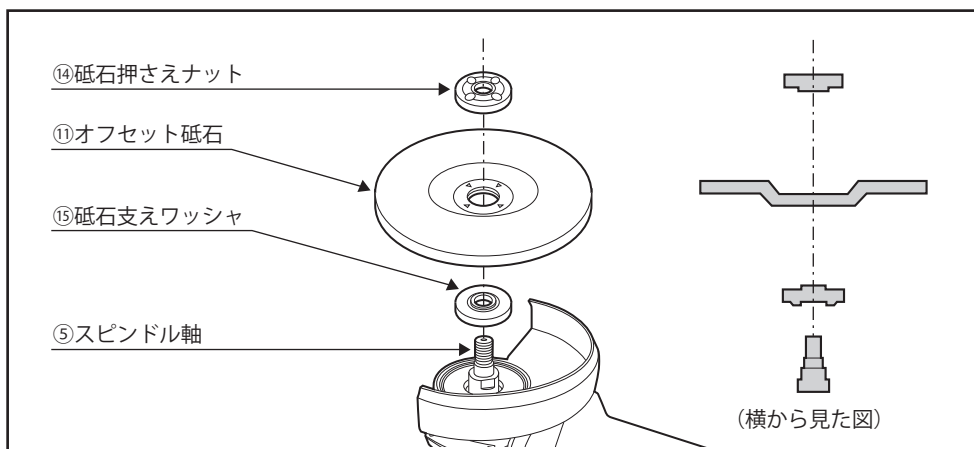
## ■砥石の選択表

- ⚠ 警告
- ・砥石は用途に合ったものを取り付けてください。用途外の使用をすると砥石が破損し、事故やけがの原因になります。
  - ・最高使用周速度71m/s未滿の砥石は使用しないでください。

被削材料の材質	砥石の種類			
	砥粒	粒度	結合度	結合剤
一般用	A	36	P又はQ	B
鋼材、鋳鉄一般	A	36	N	B
特に硬い鋳鉄（マンガン鋳鉄など）	A	36	L	B
硬性非鉄金属（アルミ、亜鉛合金など）	C	20	L	B

## ■付属のオフセット砥石の取り付け

- ①本体を裏返してスピンドル軸を上に向け、下図の順番に付属品を差し込んでください。この時、砥石押さえナットを軽く締めて仮止めをしてください。

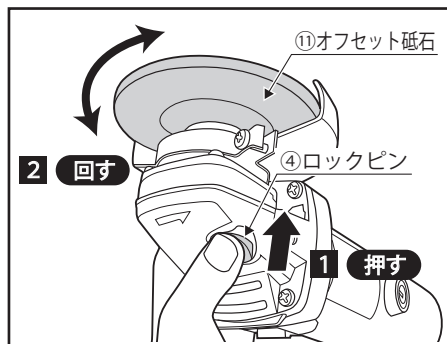


# オフセット砥石の取り付け

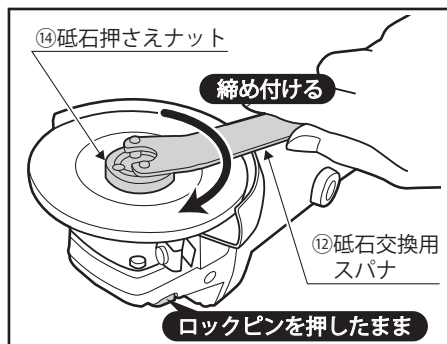
※各部名称・番号は P10・P11 をご参照ください。

## ■付属のオフセット砥石の取り付け(つづき)

- ②ロックピンを押しながらオフセット砥石を回し、砥石が固定される場所を探してください。



- ③オフセット砥石が固定されたら、付属の砥石交換用スパナで砥石押さえナットを締め付けてください。砥石押さえナットには穴が4つあります。図のA-Aの穴とB-Bの穴に均等に力が加わるように締め付けてください。

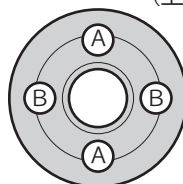


### ⚠ 警告

砥石交換後は、作業前に必ず人のいない方向に砥石を向けて試運転を行い、砥石に異常のないことを確認してください。

### 砥石押さえナットの締め付け方

(上から見た図)



A-Aの穴とB-Bの穴を均等に締め付けてください。

# 使用するにあたって

※各部名称・番号は P10・P11 をご参照ください。

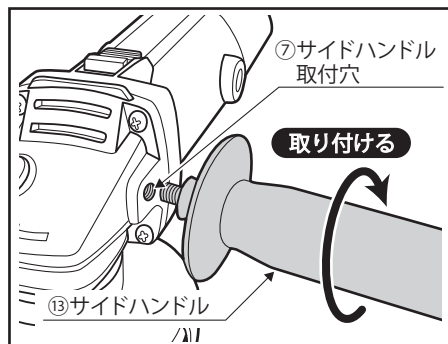
## ■ サイドハンドルの取り付け

サイドハンドルは本体を支えるための補助ハンドルです。  
必要に応じて、本体のサイドハンドル取付穴に取り付けて使用してください。

※サイドハンドル取付穴にはキャップが付いています。キャップを外してからサイドハンドルを取り付けてください。

※外したキャップはなくさないよう保管してください。サイドハンドルをご使用にならない場合は、キャップをはめて使用・保管してください。

※サイドハンドル取付穴は本体の左右両側にあります。用途に合わせて、付け替えてご使用ください。



ご使用前に

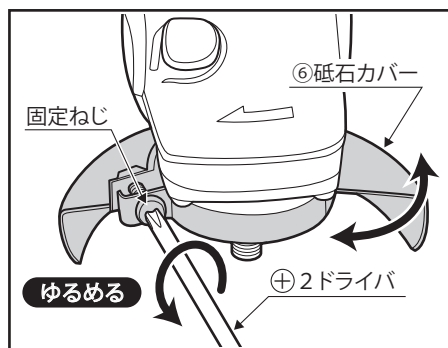
## ■ 砥石カバーの位置調整

① 砥石カバーの上部の固定ねじを ⊕2 ドライバでゆるめ、位置調整をしてください。

② 調整後固定ねじを締め、確実に固定してください。

### ⚠ 警告

- ・ 砥石カバーは安全のため、絶対に外さずにご使用ください。
- ・ 切断砥石をご使用の際は、必ず別売の切断砥石カバーを取り付けてください。  
切断砥石カバーを取り付けずに切断作業を行うと、事故やけがの原因になります。

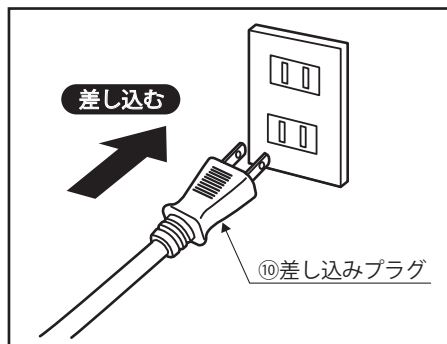


# 運転手順

※各部名称・番号は P10・P11をご参照ください。

## ■電源スイッチの確認

電源スイッチがONになっていないことを確認し、差し込みプラグを電源に差し込んでください。

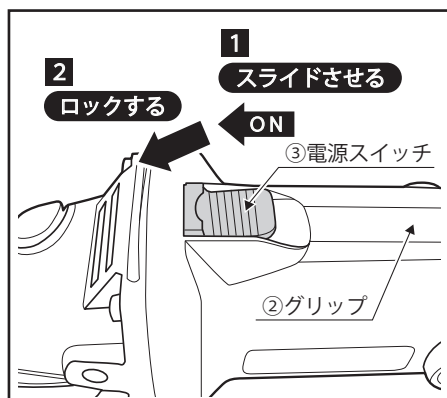


## ■使用する

①グリップをしっかりと持って、電源スイッチを前にスライドさせ、ONにし、ロックします。

### ⚠警告

使用前に、砥石に割れやヒビ、欠け等が無いか確認してください。



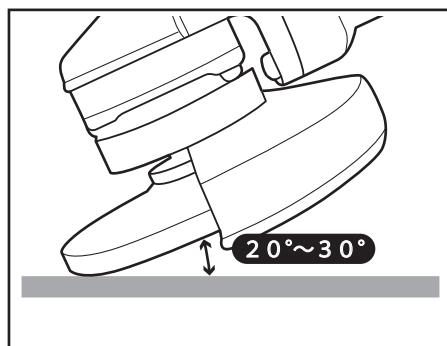
②砥石を研削する材料の面に、軽く当てる程度で保持してください。自重で研削することができます。砥石を当てる角度は、材料の面に対し  $20^{\circ} \sim 30^{\circ}$  位が適当です。

### ⚠警告

無理に押し付けるなどの、回転速度を大幅に落とすような負荷はかけないでください。故障の原因となります。

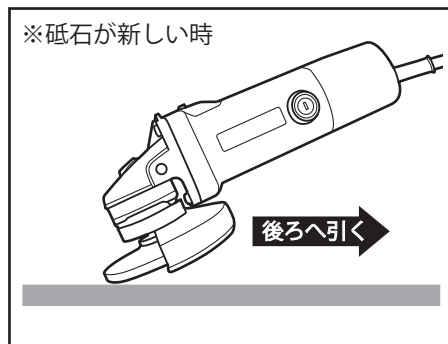
### ⚠注意

砥石の全面を材料に当てないようにしてください。





- ③砥石が新しい時は前方向へ進めると砥石の角が食い込むことがありますので、後へ引くようにして使用してください。  
周囲の角が少し磨耗してきたら、前方向に進めても、後へ引いても使用できます。



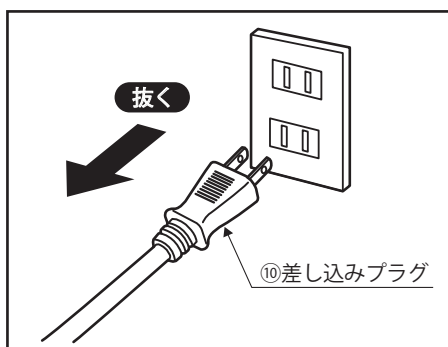
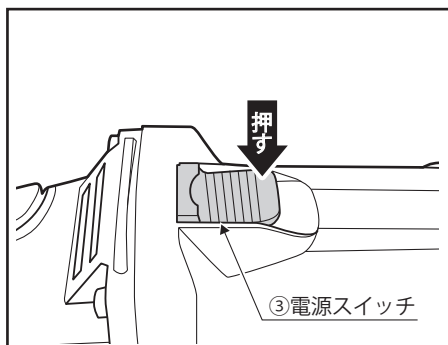
## ■終了手順

- ①電源スイッチの後方を押し、ロックを解除してOFFにします。  
回転が完全に停止したのを確認してから本機を置いてください。

### ⚠ 警告

スイッチを切った後も、惰性で回転している砥石に注意してください。手や身体に触れると、けがの原因になります。また、加工直後の加工物や砥石は、大変熱くなっていますので絶対に素手で触らないでください。

- ②電源から差し込みプラグを抜いてください。



# 取付参考例

※各部名称・番号は P10・P11をご参照ください。

## ⚠ 警告

ディスク用パーツの取り付け・取り外しの際は、必ず電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。不意な作動で、思わぬ事故やけがの原因になります。

## ■ ディスク用パーツの取り付けについて

ディスクグラインダは、市販の交換パーツを砥石のかわりに付け替えることによって、様々な用途に使用することができます。

## ⚠ 注意

- ・取り付け方は参考例の説明をしておりますが、市販品によっては名称や取り付け方法が一部異なる場合がありますので、ご使用時には市販品の取扱説明書でご確認ください。
- ・交換パーツは外径100mmディスクグラインダ対応品をご使用ください。
- ・チップソー（丸鋸刃）は使用しないでください。

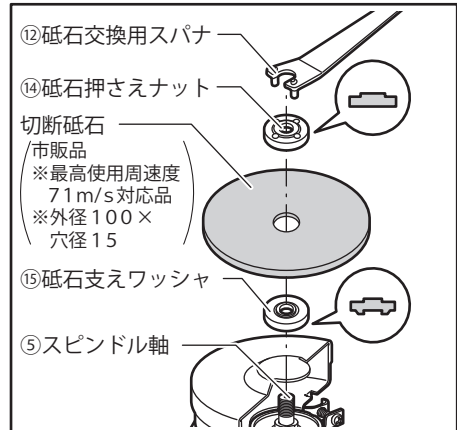
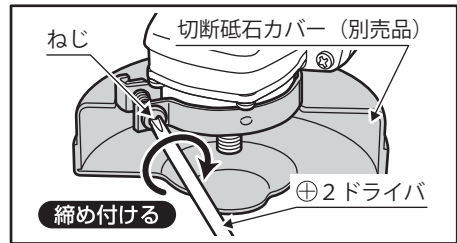
## ■ 切断砥石の取り付け

- ① 本体に取り付けられている砥石カバーを外し、別売の切断砥石カバー（品番：DG100-C）を取り付けてください。
- ② 切断砥石（市販品）に専用の砥石支えワッシャ、砥石押さえナットが付属している場合は、そちらをご使用ください。
- ③ 市販品に専用の砥石支えワッシャ、砥石押さえナットが付属していない場合は、本機に付属の砥石支えワッシャと砥石押さえナットを使用し、右図の順番と向きで差し込んでください。
- ④ ロックピンを押しながら、付属の砥石交換用スパナで確実に締め付けてください。

切断作業は特に負荷がかかりやすい作業です。故障を防ぐため、回転速度が大幅に低下しないよう注意しながら、少しずつ作業を行ってください。

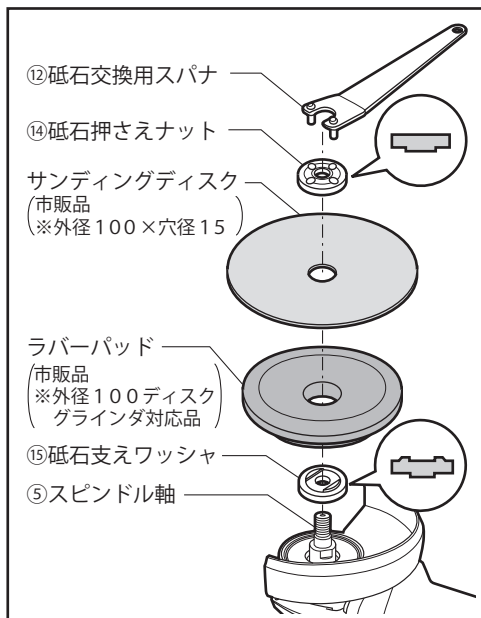
## ⚠ 警告

- ・最高使用周速度 71 m/s 未満の切断砥石は使用しないでください。
- ・必ず別売の切断砥石カバーを取り付けてください。



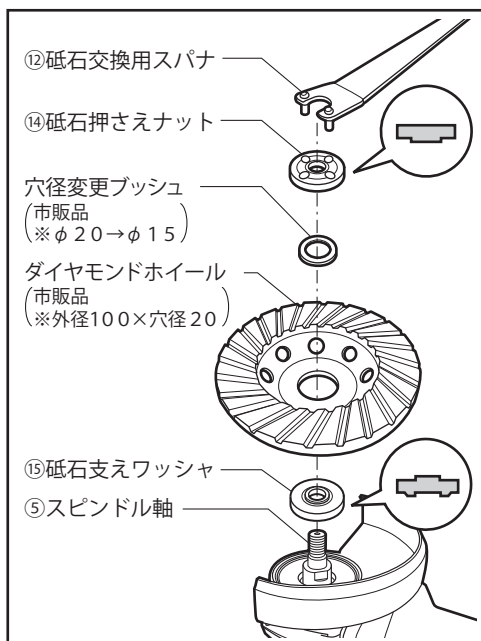
## ■サンディングディスクの取り付け

- ①サンディングディスク（市販）に専用の砥石支えワッシャ、砥石押さえナットが付属している場合は、そちらをご使用ください。
- ②市販品に専用の砥石支えワッシャ、砥石押さえナットが付属していない場合は、本機に付属の砥石支えワッシャと砥石押さえナットを使用し、右図の順番と向きで差し込んでください。
- ③ロックピンを押しながら、付属の砥石交換用スパナで確実に締め付けてください。



## ■ダイヤモンドホイールの取り付け

- ①穴径 20mm のダイヤモンドホイール（市販品）を使用する場合は、ダイヤモンドホイールに付属の穴径変更ブッシュ（ $\phi 20 \rightarrow \phi 15$ ）をダイヤモンドホイールにはめてからご使用ください。
- ②右図の順番と向きに、スピンドル軸に差し込んでください。
- ③ロックピンを押しながら、付属の砥石交換用スパナで確実に締め付けてください。



# 取付参考例

※各部名称・番号は P10・P11をご参照ください。

## ■カップワイヤブラシ／ ベベルワイヤブラシの取り付け

- ①砥石支えワッシャ・砥石押さえナットを使用せず、直接スピンドル軸に取り付けます。
- ②ロックピンを押しながら市販のスパナでワイヤブラシの六角ナット部を締め付けます。

### ⚠ 警告


使用中ワイヤの抜け・折れによりワイヤが飛散する恐れがあります。ワイヤが刺さるとけがの原因になりますので、保護メガネ・手袋等の保護具を着用してください。



# 故障かな?と思ったら

※各部名称・番号は P10・P11をご参照ください。

- 次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症状	原因	解決方法
作動しない	①差し込みプラグが外れている	①差し込みプラグを正しく電源に差し込んでください。
	②モータの不良	②お買い求めの販売店または、発売元へご連絡ください。
	③カーボンブラシが磨耗している	③カーボンブラシの交換が必要です。手順に従ってカーボンブラシを交換してください。 
回転速度が上がらない	①電圧が低い	①正しい電圧で使用してください。
	②延長コードが長すぎる	②電源に近い場所で作業してください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができません場合がありますので、ご了承ください。

# 保守と点検

※各部名称・番号は P10・P11をご参照ください。

## ⚠ 警告

お手入れや点検の際は、必ず電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因になります。

### ■保守と点検

- 砥石の外径が 60 mm 位まで磨耗したら、新品と交換してください。
- 各部取付ねじにゆるみがないか点検してください。ゆるんでいたら、確実に締め付けてください。
- モータの内部には、水、オイルなどは絶対に入れないでください。
- モータ内部のホコリやゴミを取り除くときは、本機を無負荷で回転させて、本体（ハウジング）の風穴から湿気のない乾燥した空気を吹き込んでください。
- 次の場所には保管しないでください。
  - ・ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
  - ・ お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
  - ・ 直射日光の当たる所

# 保守と点検

※各部名称・番号はP10・P11をご参照ください。

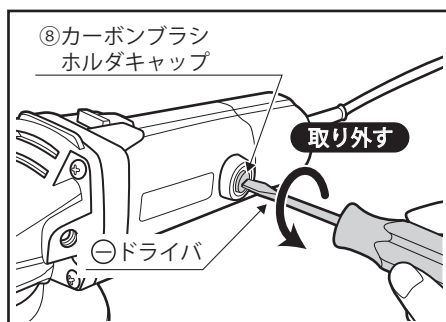
## ⚠ 警告

カーボンブラシの点検・交換の際は、感電防止のため、必ず差し込みプラグを抜いてから行ってください。

### ■カーボンブラシの交換

カーボンブラシは定期的に点検し、5 mm程度になったら新品と交換してください。

① ⊖ドライバでカーボンブラシホルダキャップを取り外します。

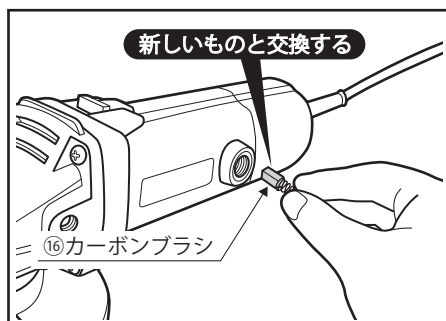


② 古いカーボンブラシを取り出して新しいカーボンブラシと交換してください。

③ カーボンブラシホルダキャップを元の通りに取り付けてください。

④ 反対側のカーボンブラシも同様に交換してください。

- カーボンブラシは2個で1組になっておりますので、交換は必ず同時に行ってください。
- カーボンブラシは別売しております。本機をお買い求めの販売店までお問い合わせください。



# 別売品について

※各部名称・番号はP10・P11をご参照ください。

## ■別売品一覧表

名 称	品 番
ディスクグラインダ用 カーボンブラシ	DG100SPA-CB
ディスクグラインダ用 切断砥石カバー	DG100-C

# 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名	ディスクグラインダ	型式	DG-100SPA
お買い上げ日※	年 月 日	保証期間	3ヶ月
お客様※	ご住所	〒	
	ご氏名	様	
	電話番号	- ( ) -	
販売店※	住所		
	店名		
	電話番号		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

## 1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

## 2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

## 3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21

TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559

URL <http://www.paock.co.jp>